

別表１ 営業の種類に応じた営業内容及び給水・廃水タンクの容量

業種	営業内容	給水・廃水タンクの容量
飲食店営業	I型(40型) 簡易な営業 ・単一の工程からなる調理であって、かつ、単一品目のみ取り扱う。 ・処理や加工を伴わない非包装魚介類の付帯的な販売を行う。	約40リットル
	II型(80型) 比較的大量の水を要しない営業 ・2工程からなる調理を行う。 ・複数品目を取り扱う。 ・処理を伴わない非包装魚介類の付帯的な販売を行う。 ・生食用鮮魚介類の調製を伴う販売をする。	約80リットル
	III型(基本型) 比較的大量の水を要する営業 ・3工程以上からなる調理を行う。 ・通常の食器を使用することができる。 ・鮮魚介類の処理及び生食用鮮魚介類の調製を伴う販売をする。	約200リットル
食肉処理業	野生鳥獣の生体又はとたい及び食肉の処理を行う	約100リットル(目安として、鹿又はいのししを処理する場合の成獣1頭あたり)

別表２ 飲食店営業における給水・廃水タンクの容量の判定

番号	要件	該当する場合	該当しない場合
①	調理の工程が3工程以上	約200リットル	②を判定
②	リスクリスト(200L)に該当する	約200リットル	③を判定
③	調理の工程が1工程かつ単一品目のみ取り扱う	④を判定	約80リットル
④	リスクリスト(80L)に該当する	約80リットル	約40リットル